

2 防災・安全

	タイトル	意見等
1	県外観光客の安全を脅かす大規模イベントの警備体制不備、および県の観光安全ブランドに関する提言	徳島県知事、ならびに県政関係者の皆様 大変お世話になります。徳島県外在住の者です。 今年、徳島市内（藍場浜公園等）での開催が計画されている大規模イベントについて、他県からの観光・参加を検討しておりましたが、その安全管理体制について極めて重大な懸念を抱いたため、県政への提言としてご連絡いたしました。 公式な告知等において、本イベントは「3日間で来場者1万人を目指す」「夜間の花火やパレードの実施」など、極めて大規模な集客を行うフェスティバルであると謳われています。しかしながら、これだけの大群衆が集まることが予想されるにもかかわらず、現場の安全を担保する「プロの民間警備員（雑踏警備の専門家）」が一切配置されず、素人のボランティアスタッフのみで警備や誘導を行う体制であると聞き、非常に大きな恐怖と危機感を覚えております。 過去に発生した明石歩道橋事故や、露店の爆発事故の例を引くまでもなく、1万人規模が動く屋外の過密イベントにおいて、専門知識のないボランティアのみで群衆をコントロールすることは不可能です。万が一、将棋倒しや雑踏事故、あるいは火災発生時のパニックなどが起きた場合、県外から徳島を訪れた多くの観光客や、地元の市民の命に直結する大惨事になりかねません。徳島県におかれましては、本イベントに対して、観光振興の名目で安易に「後援名義の貸与」や「補助金・助成金の交付」を行っていないか、今一度厳格に調査・監査していただきたく存じます。また、会場となるのは市の公共施設ではありますが、徳島県全体の「観光の安全安心ブランド」を守る立場から、主催者に対してプロの警備員の適切な配置や、警察・消防と連携した実効性のある安全管理計画の策定を強く促すよう、管轄部局（観光担当や危機管理担当）からの行政指導を強く求めます。 事前にこのような具体的な安全リスクの指摘があった事実を踏まえ、万が一の事態が起きた際には、主催者のみならず、リスクを認識しながら適切な是正を行わなかった行政側の不作為の責任も厳しく問われるべき事案であると考えます。 県外の人々が安心して徳島を訪れ、安全に観光を楽しめるよう、徳島県としての毅然としたご対応をお願い申し上げます。
2	治水対策について	勝浦川の雑草雑木どうにかならないか。横瀬橋下流の大量の雑木、ローソン前付近のクズ、沖野直線道路付近の竹見栄えも悪いし河川内の雑木は洪水時支障が出るのでは？とくにローソン前付近はクズが道路まで出ている。長年放置する気ですか？沖野の竹は一度除去したがまた生えている。根の完全除去までしないと今後さらに悪化するでしょう。

2 防災・安全

	タイトル	意見等
3	節水呼びかけについて。	最近、取水制限についてニュースで報道され始めましたが、報道された時点で、渇水の深刻度は「レッドレベル」とのこと（徳島県ホームページより）。 しかし、徳島県のホームページトップには、節水を呼びかける文言も危機意識もなく、「徳島おどり」等、通常モードな宣伝が目につきます。 他県のホームページをご覧になったことがありますか？例えば、香川県では、県のホームページトップ上部に「緊急情報」として節水を呼びかけ、ニュースでも、早い段階から節水を呼びかけていました。 対する徳島県。徳島市の情報によると、このまま雨がふらなければ、9月上旬から中旬頃には、貯水率ゼロ%になるとのこと。県民にとっては寝耳に水で「報道が出てすぐに、レッドレベル？！イエローの段階で知りたかった！」です。このような状況になる前に、早い段階で県民に節水を呼びかけ、県民の意識向上に努めるべきだったのではないのでしょうか。水がなくなる、という状況に対して、あまりに危機意識が低いように思います。